



誰かの挑戦を、  
空は待っていた。

1968年4月12日。

霞が関ビルディングが竣工しました。

日本初の超高層ビル、地上147m、36階建て。  
この1棟のビルから、日本の街づくりは大きな  
一歩を踏み出したのです。国土の狭い日本に  
おいて、「空」という大きな可能性を開拓した。  
緑地や広場などを敷地内に配することで、  
都市に人間性をとり戻す流れを生み出した。  
このビルを完成させるための新しい発想と  
工夫が、次なるイノベーションの礎となった。  
あらゆる点で、日本の都市開発、日本の街づくり  
のターニングポイントでした。

以来50年。三井不動産は、時代の変化を的確に  
捉えながら、柔軟な発想で新たな価値創造に  
挑んできました。そして、次の50年へ。これからも  
三井不動産は、未来を見据えてさらなる  
イノベーションへの挑戦を続けていきます。  
あの1棟のビルが示した道と、想いとを、決して  
忘れずに。

2018年4月12日、  
霞が関ビルディングは  
竣工50年を迎えます。



都市に豊かさや潤いを。  
三井不動産の挑戦は続きます。



三井不動産

